

L880K コペン リヤアクスルリジットキット

取扱説明書

取付け作業前に必ずお読みください

2009.12.15 初版

■本製品は、以下に表示する車両に適合します。

車名	型式
ダイハツ・コペン	L880K

■はじめにお読みください

この度は本製品をお買い求め戴き誠にありがとうございます。
本製品の機能を発揮し、かつ安全に使用していただくために本書をお読みください。

■安全上の注意

本書には本製品の機能を十分に発揮するとともに、あなたや他の人々、車両等への危険や損害を未然に防止するための注意事項を示しています。
本製品は、ノーマルの車両を基準に開発、設計を行なっています。ノーマルから著しい変更を受けた車両に関しては本製品の機能及び性能、安全性について保証致しかねます。
本書に記載されている事項を守らなかった場合、死亡や怪我の人身事故・製品や車両その他の物損事故には一切の責任を負いかねます。その場合製品や車両その他の物品や作業工賃等の金銭的保証並びに時間的・精神的損失についても一切負担致しません。予めご了承くださいますようお願いいたします。
本書では安全に使用していただける様に下記の記号を使用し作業や使用時の危険レベルを表示しています。必ず指示に従っていただきますようお願いいたします。



警告

作業者または使用者が、死亡または重傷を負うまたは重大な物的損傷につながる危険が切迫して生ずることがある場合に表示。



注意

作業者または使用者が、傷害を負う危険を想定される場合。
また本製品が原因で誘発された物的損害の発生が想定される場合に表示。

本製品に関するお問い合わせ、紛失、補修部品の購入、オーバーホール等のご依頼はお買い上げの販売店へお問い合わせ下さい。

■使用される前に

本製品を正しくお取り扱いいただくため、下記の注意事項を厳守して下さい。

■構造上/作業上の注意事項



警告

■本製品の装着に際して車載ジャッキやパンタグラフジャッキを使用した車体の持ち上げや保持は絶対に行わないで下さい。作業中に車両が落下してケガをしたり最悪の場合死亡する恐れがあります。必ず自動車用リフト、もしくはガレージジャッキとリジットラックを使用して下さい。



注意

■本製品の取付は必ず専門業者に依頼し、自動車メーカー発行の整備要領書や修理書と本説明書を参照して下さい。



警告

■本製品に対し切削や溶接など加工及び改造は絶対に行わないで下さい。



注意

■各部のボルト、ナットはメーカー発行の整備要領書などを参照し規定トルクに従って締付けして下さい。規定トルクに従わない場合ボルト、ナットの破損や部品の脱落等の原因となります。

■維持・管理



注意

■日常点検はドライバーの責任です。必ず実施して下さい。



注意

■本製品取付後は操縦安定性等が変化しています。操作フィーリングに慣れるまで速度を抑えて走行して下さい。



注意

■走行中に異音、異臭、振動等異常を感じた場合は、運転を中止し専門業者に症状を告げ点検、必要であれば修理を依頼して下さい。



注意

■故障の修理はお客様自身ではなさらず、必ず専門業者に依頼して下さい。

■譲渡の際には

本製品を第三者に譲られるときは本取り扱い説明書を一緒にお渡し下さい。

■廃棄する場合は

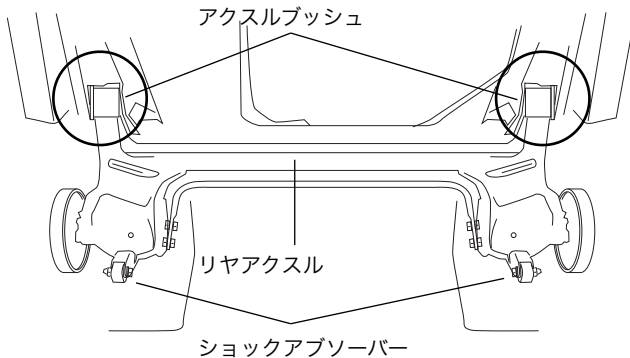


注意

■廃棄する場合はお買い上げの販売店もしくは専門業者に依頼して下さい。

リヤアクスルリジットキット取り付け

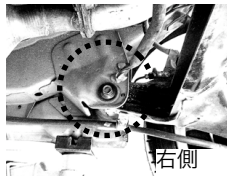
リヤサスペンション構成図



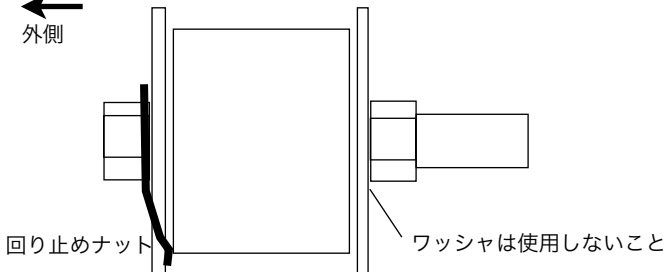
■車両をジャッキアップしリジットラックを使用して支えます。

後輪を外しリヤショックアブソーバー、リヤスプリングを外した後、ショックアブソーバーのみ仮付けしておきます。

※スプリング取り外し時ジャッキの操作は慎重に行なってください。スプリングが飛び出すおそれがあります。



外側 (Outer side)



■アクスル取り付けボルトを取り外しキットのボルトと交換します。元のプレートワッシャはここでは使用しません。

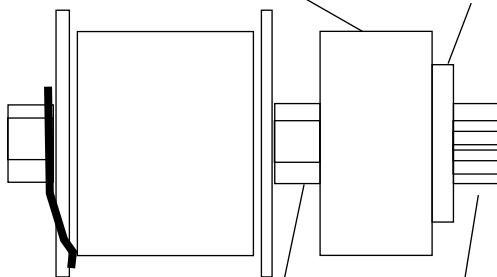
ボルトはまだ完全には締め付けないで下さい。

※ボルトは2本同時に抜かないこと。アクスルが落下します。

※ボルト挿入時回り止めナットが脱落したり固定穴からずれない様に注意すること。

アクスルリジットキット

プレートワッシャ



ロックボルト

$T=43\sim51\text{N}\cdot\text{m}$

アクスルボルト

$T=90\sim100\text{N}\cdot\text{m}$

■コイルスプリングとショックアブソーバーを取り付け一旦車両をジャッキダウンします。1G荷重の状態でアクスルボルトを締め付けます。

$T=90\sim100\text{N}\cdot\text{m}$

■再びジャッキアップしてアクスルリジットキットを取り付けます。純正のプレートワッシャを使用してロックボルトを締め付けます。

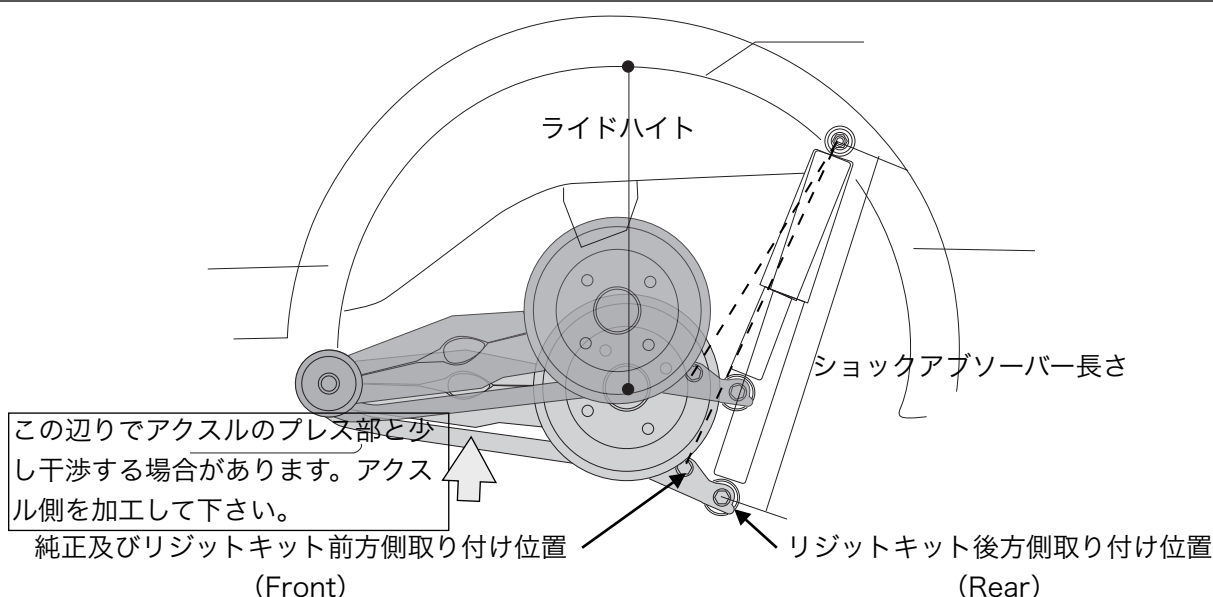
$T=43\sim51\text{N}\cdot\text{m}$

■ ショックアブソーバの取り付け位置を変更する場合は純正のショックアブソーバ取り付け位置にキットのディスタンスカラーを挿入しキットのショックアブソーバ取り付けボルト&ナットを使用してアクスルリジットキットを供締めします。

アクスルリジットキットのショックアブソーバ後方取り付け部に純正のショックアブソーバ取り付けボルト&ナットを使用してショックアブソーバを取り付けます。

■本キット装着によりリヤアクスル周辺にはノーマルの状態より大きな荷重や負荷がかかることが予想されます。特に回転部で消耗品のリヤハブベアリング等は定期的に点検することを強く推奨いたします。

ショックアブソーバー取付け位置について



ライドハイト	ショックアブソーバー長さ (Front)	ショックアブソーバー長さ (Rear)
240	300	-
245	305	300
280 (バンブラバータッチ)	340	335
325 (標準車高)	390	395
360	435	450
380	450	-

本キット装着によりリヤショックアブソーバーのアクスル側取り付け位置を任意で選択して取付けすることができます。ライドハイトとショックアブソーバ長さの相関関係は上記の表の通りです。※計測方法により若干の誤差が生じます。ご了承下さい。

表の通り後方に取付けることによりホイールストロークに対しショックアブソーバのストローク量は標準位置に比べ増加します。ホイールストロークの速度が同じ場合ショックアブソーバはより速くストロークするため減衰力は大きくなります。ボディのマウント位置とハブ中心、コイルスプリングマウント位置等との関係でショックアブソーバの影響も強くなります。今までと同じショックアブソーバを使用されても操縦性・安定性が大きく変わることがあります。

また、同じストロークのショックアブソーバでもホイールストロークは減少します。使用するスプリング & ショックアブソーバの残りストローク、バンブラバーの有無や高さ等を充分考慮・検証してから取り付け位置の選定を行なう様にして下さい。

安易な取り付け位置の変更はお勧めいたしません。